

温故知新

本日は、お忙しい中、ご来校をいただき、ありがとうございます。私は、この4月、橋本雅之前校長の後を受け、本校に着任をした田沼良宣でございます。どうぞよろしくお願いたします。富士見中学校には、これで3回目の着任です。1回目は、大学を卒業したばかりの初任者として、2回目は教頭として、そして今回です。

故きを温め、新しきを知る「温故知新」という故事成語がありますが、私にとって「故き」とは、30年以上前の当時の生徒との思い出です。特に当時担任していた生徒への思いは格別なものがあります。富士見中学校には、当時から脈々と受け継がれてきた伝統、校風、精神があります。「文武両道」の精神もその1つです。そういうことを大切にすることが「故きを温め」ることだと考えています。

ただ、それだけでは十分であると考えているわけではありません。「新しき」ことにもどンドンと挑戦していきます。学校教育目標「『知・徳・体』のバランスのとれた日本一の富士見中生」のもと「自ら学ぶ生徒」「心豊かな生徒」「健康な生徒」の育成に向け、本校の教育活動で改善すべきところは迷わず改善してまいります。また、全国的な課題である部活動の在り方等につきましても、市内の他の中学校とともにより良い方向に向かって進んでまいります。

ここで、皆さまに1点お願いがあります。それは、SNSの使い方等についてであります。スマートフォンやタブレットなどインターネットに接続できる機器が普及し、多くの子供たちがそれらを手にする時代です。便利である一方で、心配もあります。例えば、友達の画像を撮り、それを場合によっては加工するなどしてLINE、インスタ、ティックトックで共有するなどのことです。画像は使わなくても、悪口や本人が嫌だと感じる「あだな」を発信することは、ネット上のいじめ、もっと言えば罪に問われることだってあります。そのことにより心を傷つけられた生徒を守るために、学校でできることはどうしても限定されてしまいます。生徒を守ることを第一優先に考えれば、警察などの関係諸機関と連携し、素早く専門的な対応を行うことが必要不可欠です。特に、SNS上の画像等の拡散は、情報を察知した段階で警察等の関係諸機関に相談することを学校は繰り返し指導されています。どうぞご理解ください。さらには、「スマホ使い方宣言」などを踏まえ、お子さんに対し、学校とともに、ご家庭の責任においても正しい使い方をご指導くださいますようお願いを申し上げます。それが、子供たち、生徒たち一人一人を守ることとなります。どうぞよろしくお願いたします。

これからの1年間、家庭と学校とが、手に手を取り合って、同一歩調で指導・支援にあたることが重要です。全ては子供たちの笑顔のために、です。今、各教室にいる担任は、お子さんのことを真剣に考えます。真摯にお子さんに寄り添います。ですからどうか、担任を信頼していただき、遠慮なくご相談いただければありがたいです。本日はよろしくお願いたします。私からのあいさつは以上といたします。